

女子教育ただ一筋 大妻学院の歩み 120年



大妻コタカ

大妻学院の歴史は、明治41年(1908)に大妻コタカが裁縫・手芸の私塾を開いたことに始まります。コタカは、夫・良馬とともに私財をなげうち、学生の教育に心血を注ぎました。その後数々の苦難の時期を乗り越え、現在の大妻学院は学生・生徒数1万人超の学校法人へと大きく発展を遂げました。

平成19年(2007)4月、大妻学院が建学以来収集してきたさまざまな資料を教育・研究に活用すべく、「大妻女子大学生生活科学資料館」が設立されました。そして平成23年(2011)2月に、東京都から博物館相当施設(令和5年〔2023〕4月より指定施設)の指定を受け、平成24年(2012)4月には館の名称を「大妻女子大学博物館」に改め、新たなスタートを切りました。

大妻女子大学博物館では大妻学院創立者の大妻コタカと、その夫で最大の支援者である大妻良馬の生涯、そして大妻学院に関する資料を、収集・調査研究・整理保存・展示公開しています。

熊田コタカ誕生

裁縫・手芸の家塾を開設
(大妻学院創立)



(1914年ごろ)

1884

1907

1908

1916

1917

1921

1923

1929

東京大空襲により校舎焼失



(1945年)

大妻中学校設置

大妻高等学校設置

大妻女子大学短期大学部設置

大妻女子大学大学院設置

多摩校開設
大妻多摩高等学校設置



(1996年ごろ)

大妻多摩中学校設置

創立100周年



大妻コタカ逝去

大妻女子大学博物館開館
(生活科学資料館から改称)

学校法人誠美学園合併
(大妻中野及び大妻嵐山中学高等学校)

創立120周年

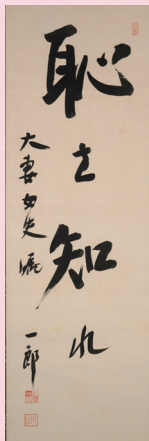
大妻良馬と結婚
(大妻姓となる)



(1907年)

私立大妻技芸学校、
各種学校として認可

校訓「恥を知れ」制定



(1932年揮毫)

大妻良馬逝去
財団法人大妻学院認可
(1951年学校法人へ組織変更)

大妻女子大学設置



(1969年ごろ)

狭山台校開設
(2015年閉校)



(1984年ごろ)

私立大妻高等女学校設置
(私立大妻実科高等女学校を改組)



(1922年ごろ)